

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1712回例会

令和4年5月26日 (18:30～19:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長 (ホームミーティング発表、みなさんありがとうございました。時間が余ってしまった場合にお願していました、宮本先生のニュース解説、ありがとうございました。)
- 須藤正樹幹事 (ホームミーティング参加ありがとうございます。みなさん楽しめたと思います。今日、白河第二小学校で石川さんと租税教室を行なってきました。税金の大切さを教えてきました。)
- 金田昇会員 (去る20日、石川町八幡屋にて県南分区の新旧会長幹事会が対面で開催されました。ご協力いただいた会員の皆様ありがとうございました。)
- 永野文雄会員 (ホームミーティングの発表者の皆様、ご苦労様でした。)
- 根本あゆみ会員 (先日は誕生日プレゼントありがとうございました。40代最後の年になりました。職業奉仕の為例会欠席が続き申し訳ありません。アフターコロナに向けて業務転換の準備を頑張っているところです。HMでは第1班・5班・6班の皆様アジアンをご利用頂きありがとうございました。)

▶第1712回例会出席状況 (R4年5月26日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	5名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	42名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	68.9%



米沢中央RC来白 5月23日(月)

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、例会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。今日はちょっと時間が余りそうだとということで、SAAのほうから長く喋ってくれないかなんて話がありましたので、この時間を利用して3つほど皆さんにご報告をさせていただきたいと思えます。まず一つ目が、先週の5月20日金曜日に、県南分区の新旧合同会長幹事会が石川町の「八幡屋」で、日本一を奪還したという「八幡屋」で行われまして、我がクラブからは主催者として金田ガバナー補佐、諸橋分区幹事、永野分区副幹事。参加者として、わたくしと須藤幹事、次年度として、高畠次年度会長と車田次年度幹事の参加者として4名で参加してまいりました。夕方6時半の遅い時間からスタートしたわけなんですけども、会議は諸橋分区幹事の本当に巧みな司会進行で進められまして、着々と新旧合同会長幹事会が開催されました。途中で新旧二つの会に分かれまして、今年度の金田ガバナー補佐と次年度の新ガバナー補佐の二つの体制のもとに、新旧の会長、幹事のほうからお話をいただいたようであります。我々の旧の会のほうでは、IMの報告が金田ガバナー補佐のほうから報告された後に、我々会長のほうから一年間、県南8クラブのそれぞれの会長のほうから一年間の振り返りというか報告をされる形で会を進行しました。その後、本当に久しぶりに合同で懇親会が行われました。非常にフルスペックというか、お酒も出て美味しい食事を堪能した素晴らしい会でありました。その後、石川クラブの接待で地元、母畑温泉のお膝元ですから石川クラブの接待を受けまして、本当に久しぶりに素晴らしい夜を堪能したという感じで、県南8クラブのみんなが相互に親睦を深められたことができました。金田ガバナー補佐はじめとしまして、分区幹事も皆様も素晴らしい設営を改めて感謝申し上げたいと思えます。そして、二つ目の報告であります。その「八幡屋」の夜の次の日、5月21日、そのままわたくし「八幡屋」をチェックアウトして、その足で郡山市の労働福祉会館という所で開催されました、酒井パストガバナーの規定審議会の報告会というのがございましたので、正式名称が規定手続委員会セミナーというものです。そちらでコロナ禍で出席者の制限がちょっとあるということで、各クラブ1名だけということでしたので、私が参加してまいりましたのでご報告申し上げます。酒井パストガバナーは予定としましては、今年度の4月10日から4月14日までの5日間、アメリカイリノイ州のシカゴで開催されました規定審議会に現地参加する予定でありましたし、そういった意気込みで昨年、私も壮行会に参加させていただいたんですが、やはりこのコロナの影響

で、確かそれには全国から450名くらい集まったと聞いておりますが、現地参加できたのは300名あまりですね。残り三分の一の150名は、やはりリモートでの参加ということで、残念ながら酒井パストガバナーも日本からこの5日間をリモートで参加するというような形での規定審議会という形になりました。もちろん、日本から参加しますと現地とは時差がありますので、11時に始まって朝の9時に終わる。10時間会議が5日間続ける。昼間もちろん、いろいろ仕事とかあるでしょうから、非常に辛い4日間だと申し上げておりました。いっそのこと、現地に行って参加したほうが楽だったろうということで、残念だと本当に言っておられました。規定審議会というので、提案提出された日本はいろいろこのロータリーに関する規則、規約の変更に関するものは沢山出るので、採択された分だけのコピーを配布いただきました。実際、この定款にこれが反映されていくんですけども、いろいろな事情でなかなかそれは時間がかかるようございまして。あと翻訳などにも、なんか話によるとブレがあってそこら辺も精査しながら、正式に発表されるのは相当遅れるということであると思えます。それも3年に1回づつ繰り返されているということでもあります。いただいた資料は後で我がクラブのビジョン推進研修委員長の宮本委員長のほうにお渡ししまして引き継いでいただくことにしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。実はあと、もう一つ報告がございまして。これは今週の頭5月23日の月曜日、本当に今まで長らくコロナ禍で交流が途絶えておりました我がクラブの姉妹クラブであります米沢中央ロータリークラブさんが新年度体制としての挨拶ということでご来訪いただきました。米沢中央さんからは、次年度の会長であります実には2回目の会長であります宮嶋会長、皆さんもご存じかと思えますが宮嶋会長。そして、落語が凄く上手だと噂される石井次年度幹事さん。それと、平山会長デグジネート。今年度の幹事でありまして、女性の遠藤啓子幹事。遠藤啓子幹事は来年、姉妹クラブの担当として今年度の我がクラブの須藤幹事とやり取りをする形になるというふうに言っておりました。そして、皆さんもお馴染みの今年度姉妹クラブの担当でありました赤間パスト会長の5名でお越しいただいた次第でございまして。お昼は青木会員の「楓」で美味しい食事をいただきながら会食をいたしまして、その後せっかくだからということで藤田会員の「藤屋蔵」に「結城素明展」を見せていただきたいということで場所を移動して行くんですが、残念ながら休館でありまして、蔵の立派な改修された蔵の周り建物周りだけを見させていただいてからその後、南湖神社さんのほうに動きまして南湖を見ていただいた後、南湖神社さんでお参りをして、その後南湖神社さん所有の宝物殿、そちらちょっと今地震で天井とかが一部落ちて、改修の途中だったんですが、むりやりお願ひをしまして、ただで帰ってもらうのも悪いですから。中目さんに電話したんですけど、中目さんはRYLA

の研修で今確か新潟から帰る途中だということで、息子さんをお願いをして宝物館の建物を息子さんの手厚い説明のもとに、米沢中央の方々に拝見していただきました。もちろん南湖見学も、お団子も金田バスト会長のおごりで皆さんにふるまっていたいただいて、ご満足いただいて帰っていただいたという次第であります。これらの写真は、今日私こちらに来る前にフェイスブックのほうにアップさせていただきましたので、皆さんにもご覧になっていただきたいと思います。来年は是非、コロナの心配もなく交流が深めることができるといいねと、お互いクラブを確認した次第であります。高畠次年度、そして須藤幹事は来年のシスター委員長でありますから、今年と去年の本当に米沢中央ロータリーとの不完全燃焼的な交流を挽回すべく、熱い交流をできることを期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。あともう一つ、ゴルフ愛好会の今年度最後のコンペが実は今回、今年度新規発足しましたバイク愛好会とかち合ってしまったんですけども、今日はまだ来てはおりませんが矢田部バイク委員会の会長にちょっとむりきりお願ひしまして1週間ずらしていただいて、わたくしも、あとは同席する佐藤幸彦デグジネートも、ゴルフにもバイクのツーリングにも両方とも参加できることになりましたので、是非是非参加して最後ですけど盛り上げていきたいと思ひます。それでは最後になりますが、今日の例会はホームミーティングの報告であります。今回の報告は、高畠次年度の非常に大きい大切なヒントになることが沢山出ることかとも期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。それでは、今回ちょっと長々と報告ばかりになってしまいましたが、会長の時間はこれで終わりたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。

- 幹事報告** 須藤正樹幹事
- 全国ロータリークラブ甲子園野球大会 仙台東ロータリークラブ コミッショナー 岩山伸次、事務局福島西ロータリークラブ 久米允彦：全国ロータリークラブ甲子園野球大会東北地区連盟代表者会議開催のお知らせ
 - ガバナーエレクト事務所 事務局 佐藤直子：地区研修・協議会、地区大会記念ゴルフコンペの日程変更のお知らせ
 - ガバナー 志賀利彦：第40回RYLA研修会 報告書のご送付について
 - 白河ユネスコ協会 会長 小野利廣：令和4年度白河ユネスコ協会総会資料について (送付)
 - ガバナー事務所 岡野奈緒美：ラーニングセンターのレポートに関する重要な最新情報

■委員会報告

○ゴルフ愛好会

運天直人副会長



ゴルフ愛好会からのご報告になります。本日、成井委員長がお休みしておりますので、私のほうからご報告させていただきます。先程、会長からもありましたように、会長幹事慰労会ということで、6月12日に「那須陽光」でゴルフコンペをさせていただくんですが、まだ出欠が出てないメンバーの方いらっしゃいます。会長からの話でバイク愛好会の総会とのかぶりがなくなったということで、会長と佐藤幸彦会員は参加していただけるということを今ここで確約をいただきましたので、その他まだ出欠を出されていない方はよろしくお願ひをいたします。

○IM実行委員会

吉田充実行委員長



皆さん、こんばんは。お手元に冊子が届いてると思います。報告書ですね。本年度、金田昇ガバナー補佐のもと行われたものが記録として残っておりますので、皆さんあとで目を通していただければなと思ひます。これに際して、渡部勝也さん、本当にいろいろお手数かけてありがとうございます。あと、中目副実行委員長、誤字脱字チェックありがとうございます。皆さんのおかげをもちまして、無事にこの冊子ができました。以上報告とさせていただきます。ありがとうございます。

■本日のプログラム

ホームミーティング報告

～テーマ～

- 1、ロータリアンとしてコロナ禍だからこそすべき奉仕とは何か。
- 2、コロナ禍終息後に西ロータリークラブとして一番やってみたい奉仕活動や事業は？

○1班

吉成真五郎会員



皆さん、こんばんは。1班の発表ということで、ご報告させていただきます。先日、1週間ほど前、場所は根本あゆみさんのお店「アジア」さんで開催させていただきました。出席メンバー、大住さん、青木大ちゃん、仁平さん、遠藤敦さん、成井さん、私の6名でした。まず最初の、コロナ禍でどのような奉仕をすべきかという議題だったんですけども、皆さんのお話ではほぼ終息に向かいつつあるコロナですけれども、やはり町に早く出て社会を活性化していく、日常を早く取り戻して経済を活性化させていくというのが、ロータリアンとして一つの奉仕のあり方ではないかというお話がございました。私もこの世の中、世界を見るとG7の時なんか、どこの首脳もマスクしてなかったですね。岸田さんもしてなかった

ですし、世界全体はやはりもうアフターコロナに向かって歩き始めてると思います。日本はなかなかマスクも外せないというような状況が続いておりますけれども、できるだけ早く日常を取り戻して元気な社会を取り戻す。それには、やはりロータリアンが元気を出して率先して社会を活性化していくべきではないかというふうに私も思います。やはり、コミュニケーションがウェブとかそういった場面が増えてきてるんですけども、実際やっぱり人は人と会ってコミュニケーションを取らなければやっぱり癒されれない。オキシトシンが出てこないというんですかね。オキシトシンって、こう人と会ってこうなんかすごい幸せな、多分例会に出てくると皆さん元気になると思うんですけど、それ何でかというオキシトシンが体内で分泌されているからなんですよ。最近、読んだ本に出てたんですけども。そういったことがあります。それは画面でいくら人と会って話をしても生まれ出ないというのが、いろんな研究で今証明されてるというお話をしました。ただ、このズームとかというのが良い面もありまして、海外の人と会ったり、日本の中でもなかなか実際リアルでは会いに行けないような人とも、ズームを通すといつでもアクセスできるというコミュニケーションが取れるというところは利点がありまして、そういったものは今後もうまく活用していくべくではないか。例えば、ほかの東北の地区の方とのロータリーとの交流とか、今までは実際にリアルで行って交流するとなると敷居が高かったものを、そういった形でウェブを利用した形でやっていくというのも、今後のロータリアンのやり方としてあるんじゃないかというお話もございました。二点目の、コロナが終わってからやってみたい事業というところだったんですけども、こちらは社会奉仕の中で過去、私もまだ一年ほどしか西ロータリーに入ってから経ってないので、過去の事業というのがいまいまいちわからないところもあるんですけども、林さんが提唱されて、いろいろ植樹とかそういったものをやってきた。そういったものをまた見直してやるのも面白いんじゃないか。なかなか植樹が、こう伐採されたりしてうまくいってない面もあるらしいんですけども、そういったものに諦めないでまた原点に立ち戻ってやるというのもいいんじゃないかというお話がありました。あと、遠藤さんのほうからあったお話でちょっと面白いなと思ったのが、歴史ですね。白河の例えば小南湖ですとか、丹羽長重公のお墓とかありますけれども、そういった所がもっと観光地として取り上げられてもいいんじゃないか。そのために、西クラブのほうで例えばモミジの植樹をしたりとか、そういったこともできるんじゃないかとか。歴史と奉仕活動のコラボレーションというんですかね。ハイブリットというんですかね。そういったものって、すごく面白い。成井さんがこの白河の歴史すごく詳しくて、馬市の話ですとか、国鉄時代の機関区のお話だとか、いろんなことをしていただいたんですけども、そういったものをなかなか私たちも知らない。そういったもの

を、青少年の事業というのもありますけども、青少年と歴史を結びつけて、更に清掃活動とか植樹とか、そういったものをいろいろ混ぜ合わせた事業が行われると、今後すごく面白くなっていくんじゃないのかなっていうふうなことを感じました。二つの議題を通して、やはりリアルでお酒を酌み交わしながら、雑談を交えて砕けた形でお話すると、いろんな新しいアイデアが出るなということを感じさせていただいたホームミーティングでした。わたくしからの報告は以上です。ありがとうございました。

○3班

石川格子会員



皆さん、こんばんは。改めまして、石川です。3班は、齋藤孝弘班長を筆頭に、佐藤清作先生、前原さん、居川先生、鈴木会長、兼子聡さん、藤田さん、総勢8名で全員出席のもと行いました。5月18日に「梅宮」にて行いました。飲む気満々で行ったんですけど、真面目にお話が始まったのでやばいと思ってハキハキしました。お題にありましたテーマ1の、ロータリアンとしてコロナ禍だからこそすべき奉仕は何かということなんですけれども、まずは基本に立ち返ってというか、コロナ前の今までの事業を普通に開催できるようにまずはしていきたいとお話がありました。その一つに、姉妹クラブとの交流。先程もお話にありましたように、米沢中央、コザ、深谷ノースロータリークラブさんたちの姉妹クラブとの交流というものを、もっと活発化していきたいというお話がありました。それから、1番2番のテーマがちょっと混ざってしまう部分もあるんですけども、その他ランドセルをマンマーにという活動をしていると思うんですが、数年前に海外に行く活動も一緒にしていたこともあるということで、コロナが終息しましたら是非ロータリーで大勢で海外に行ってみたいというお話がありましたので、そういった昔のお話も聞かせていただきました。その他、今までの事業を普通に開催できるようにということの、もう一つとしては愛好会などの活動があると思うんですけども、今、活動が縮小している愛好会なども含めて、今まで以上にコロナ禍前以上に活動を活発化させていきたいというお話もありました。それから、新たにやってみたい活動としては、白河のロータリークラブが協力して何かイベントを開催したいというお話が出ましたが、その中の一つとしてこども食堂のお話が出ました。もう既に白河でも活動している団体等があると思うんですが、これはロータリーでしかできない協力してできる活動があるんじゃないかということで、そのこども食堂のお話も出ましたので、具体的にはところまでお話は詰めませんでした。そんな話も出ていました。それから、お題から少し外れてしまうんですけども、来年度は出欠の報告を徹底して、是非食べ残し、食事の無駄を減らしていきたいというお話も出ましたので、出欠の徹底をさらにして食事の無駄が減るように活動して

いきたいということでした。以上となります。ありがとうございます。

○ 6班

緑川直人会員



それでは、第6班のホームミーティングの報告をさせていただきます。5月19日「アジア」にて、参加者が大竹さんを班長としまして、関谷さん、山口さん、佐川さん、村上さん、沼田さんの出席で行いました。当日、渡部さんのほうが当直に入ってしまったので欠席となりましたが一升瓶を送っていただきました。テーマに沿ってお話をしていく前に、雑談というか最初に場を温めるという意味でも先輩方のお話を沢山聞かせていただきまして、まずは楽しむことが大事だよということから入っていただきまして、その中で各団体がございますが、そちらとロータリーって何が違うんだろうという質問というか疑問が出まして、その回答として名前を出すのもあれなのでちょっと伏せますが、ゴミを某Lは捨てる。ゴミを某Rは捨てない。これがロータリークラブの精神だと聞きまして、なるほどなと腑に落ちた気持ちになりました。同じ社会奉仕を目指している団体ではあると思うんですが、言い得て妙というか素晴らしくわかりやすい説明であったと思います。そんな中、テーマに沿ってロータリアンとしてコロナ禍だからすべき奉仕は何かにつきましては、まずはみんなでウィズコロナへ向かっていこう、コロナに負けない気持ちを強く持っていこうと。皆さん、前向きな力強い言葉を発しておられました。実際、コロナの初期では対応することに追われて大変な思いをした。今後は、ウィズの対応をしていきたいと思います。子供たちからの呼びかけで清掃活動を行ったこともありますが、そういうことを継続していくことが大切ではないかという意見が出ました。そんな中で様々な交流があると思うんですが、そちらのほうを是非復活させたい。その中で、メーキャップの復活というのが大事なんじゃないかという意見も出ました。せっかく、このロータリーという国際的な団体ですので、その強みを生かすということも大事なんじゃないかという話もありまして、そこからちょっと脇にずれて、名刺の作成の必要性を改めて再考する必要があるんじゃないかという意見が出ました。というのは、大竹班長なんですけども、何かの所で都内に行った時に、その都内のホテルであちらのロータリーさんの例会をやっていました。その時に、自分は名札を持っていなかったし、参加していいのかなと思ったらしいです。その時に名刺でもあれば、私こういう者ですと言って出れたのかなんてことを言っていましたので、確かに年中名札を持ってないでしょうし、名刺でもあればそういった場に入っていくやすいのかなと。せっかくの機会をそういう時に潰さずに済んだのかなと思ひまして、そういうことも大事かなと思ひましたが、作るにしてもその枚数とか、あと年度によ

て役職とか諸々変わってくるので、そういったものをどう調整していくか。それと、所属、白河西ロータリークラブ、職業は何々、それだけの記載があるようなシンプルな名刺でもいいのではないかな。そういった話も出たので、皆さんで今後考えていただければと思います。あと、会報なり名刺なり、写真が載っているんですが、その写真が誰だかわからないという方も多々おられるようなので、若かりし日の写真を使っておられる方が多いみたいなので、何年かおきに切り替えていったほうがわかりやすいんじゃないかなというお話もちりりと出ました。テーマ2つ目の、コロナ禍終息後に西ロータリークラブとして一番やってみたい奉仕活動や事業はというところでお話が始まったんですが、まずその愛好会。歴史愛好会などの活動の再開をやりたい。活動再開するにしても、さらに活性化した活動をしたいというお話も出ました。歴史巡りをする中で、某藤田家の探索というのも楽しいんじゃないかと。そのF家の蔵には凄いいお宝が沢山埋まっているので、そちらを以前見た時には愕然としたという話を聞きまして、ちょうどここに藤田記念館のチラシとかもあります。藤田記念館出る前のお宝状態見るのも楽しいんじゃないかというお話も出ました。今後、そういう交渉はしていければと思っております。それであと、メンバーも皆さん、立派な蔵をお持ちのメンバーがおられるということで、そういったものを巡っていくのも楽しいんじゃないかなというお話も出ておりました。あとは、やっぱり白河は狛犬というのが有名なんですね。ですから、その狛犬巡りを愛好会としてしていくのも楽しいんじゃないかなという意見もございました。これは東白川では活動の実績があったらしいんですが、子供たちとの清掃活動をやったそうです。その時に、想定以上に子供たちが自分から自主的にそういった活動をしたいという申し入れがあって、その保護者さんたちもそれに同調していただいて、自分たちがそれを思っていた想定以上の活動ができたということをおっしゃっていましたので、地域というのもあると思うんですが、白河西クラブの地域にとらわれ過ぎずに、その活動エリアを広げていくことも大事なのかなということで、それも意見としていただきました。結びになりますが、コロナ禍だからできないことというのが現状だったと思うんですが、コロナ禍だけできることへ意識を変えていくことが大切ではないのかなということで、皆さんでお話をさせていただきました。その中で農業体験とか、各白河市内、県南地域にある学校に対して、こういったことはどうですかという提言をしていく、そういったことも大事なのかなという話が出ておりました。6時半から始まって12時半まで、楽しい会合をやっていただきまして、大竹班長には大変感謝しております。つたない説明でしたが、報告を終わらせていただきます。

○8班

堀田一彦会員



皆さん、こんばんは。第8班の説明をさせていただきます。第8班は、5月23日月曜日18時30分から「赤門」で開催いたしました。片倉会員、吉野パスト会長、水上会員は都合により欠席でしたので、矢田部パスト会長と高畠次年度、鈴木典雄会員、堀田、桜岡会員の5名で開催となりました。テーマ1の、ロータリアンとしてコロナ禍だからこそすべき奉仕は何かというお題については、コロナ禍だからとかではなくコロナはこの先も続くので、今まで通りの例会や事業をリアルでどのようにしたら開催できるかまずは考えるべきではないか。また、学校へコロナ予防設備やPCRキットなど寄付してもいいんじゃないか。また、飲食店などを積極的に利用した移動例会なんかも企画してはどうですかという話もありました。それから、コロナ禍の中でも会員同士が協力して奉仕活動ができるように、まずは各社の力を蓄えることが一番重要なのではないか。それと、事業の予算について。例えば、ジロ・デ・シラカワなんか協賛金を出しているんですけど、その事業が中止になりました。それでも、一応協賛金としては支出している。そのような状態なので、協賛金を出す団体の決算書の提出を今後は求めたほうがいいのではないかという話が出ておりました。テーマの2、コロナ禍終息後に、西ロータリークラブとして一番やってみたい奉仕活動や事業はというところで、光の当たらないところに光を当てる事業。とにかく、次年度の高畠会長の方針に全部従いますというのが8班の総意でございました。それから、この辺からお酒を飲み初めまして、矢田部パスト会長の独壇場になりまして、ホームミーティングの会費は班長が一般的には多く払っているんですけど、完全に割り勘で班長の負担を減らすべきではないかと。ロータリーは親睦と友情なので、平等に気軽に語り合えるように、その辺は気を使ったほうが今後、班長をやる方、書記をやる方の負担が少なくなるのではないかと。特にホームミーティングは、少人数で親睦を深める貴重な時間なので、その辺は検討すべきじゃないかというのが、矢田部パスト会長からのご意見でした。というところで、大変楽しく5人という少人数でございましたが、最後は高畠次年度と私で楽しく最後まで飲ませていただきました。以上となります。ありがとうございました。

○4630万円の誤送金の解説

宮本多可夫会員



ちょっと時間も押していますのでね、要は会場に来ましたら会長から、今4千万円の問題が話題になっているので、法律的なことをちょっとコメントできないかというようなことでね。私も事実関係そんなにわかってるわけじゃないですけども、事実関係を整

理すると、誤って送金して、町の担当者が翌日あるいは翌々日説得に行き、一度その2~3日後に銀行の窓口まで本人を連れて行ったらしいんですね。ところが、本人は入り口まで行って急に怒り出して、どうして誤送金だったかとかどうかなんかいろいろいちゃもんつけて、結局そこからずっともう拒否する拒否するという話になりまして、最後にはインターネットのギャンブルで全部使っちゃったみたいなのを言って、弁護士を立ててそういう言い訳もしたということの中で、今、結論的には4,600万円のうちの4,300万円までが返って、300万円がまだ未回収というのが今の状況のようなんですが。その過程の中で、端々に法律的な話でいわれると、まず民事上の問題で町の対応がもう少しキビキビとすれば、被害がもっと少なく済んだんじゃないかということの中で見ると、まずこの人は税金滞納があったということのようですね。税金滞納があると、これは裁判所を通さずに直接差し押さえができちゃうんですね。市町村というのは税金というのには非常に強い権限がありまして、普通我々他人の物を一般の人がやる時には、必ず裁判所の判決、決定をもらって差し押さえになるんですけど、市町村、あるいは保険、健保なんかもそうですけども、すぐ延滞があればすぐ差し押さえができちゃうんです。そういう法律になってるんです。国は損しないような法律を作りますから、そういうふうになってます。それで、この人はそういう延滞分があったので、その決済業者に差し押さえしたらしいんですね。それはただ税金が10万20万位の話でしょうから、それしか効力がないということで、それ以上のものについては仮差し押さえ。仮差し押さえは今度は裁判所に補償金を積んで、決定を貰って仮に差し押さえするというので、そういう手続きを取ったらしいんですね。それで何とか止まって、それで何故、この決済業者がこっちに戻したかという話で、本当は決済業者は預り金だから戻せないんですけど、本人の承諾を取ったんだと思うんですけど、本人が今、警察で調べられています。それでいろんな経過の中で決済業者から町に返金することに同意しろということで同意書をあげて今返金してもらってるという流れだと思います。ただ、それでも300万はまだ残ってるということなんですね。これは民事的な流れなんですけど、刑事的にはじゃあどういふふうになるのか。これはいろんな構成の仕方があると思うんですけど、基本的には詐欺で捕まえてるんですけど、何が詐欺なんだということなんですけど、これは銀行に自分の金ではないものが送金されて、それを自分の金と装っておろすと。そのこと自体が銀行を騙しておろしたということで、それが詐欺になるんだという、まあそういう仕方だと思うんです。これ他人の物を勝手にやるということについては、いろんな仕方があると思うんですけど、まあそんな今思いついた話でそんなところで